



全力坂っ子!

坂瀬川小 学校だより
令和5年9月26日発行
第7号 文責:桜井祐子

わたしたちにできること

2学期が始まり、約1ヶ月が経とうとしています。2学期当初はインフルエンザ等の感染症への感染、長すぎる猛暑による体調不良があり、大変心配しました。しかし、最近の子供たちはようやく昼休みも外で遊べる日が増え、日常のありがたみを感じることができます。これもご家庭での体調管理に気を配っていただいているおかげです。

さて、児童会活動の一環で「ボランティア大賞」の取組を9月に行いました。中心となるのは「ぴかぴか元気委員会」です。今年度の児童会目標「全力坂っ子 勉強 協力 ボランティア」の目標達成に向けたものです。ボランティアは強制されて行うものではありませんが、子供たちが取り組むきっかけとなればと感じています。登校後、子供たちは自分の準備を済ませてから、自分にできるボランティアを行っています。自分の学校が過ごしやすくなるように、自分の周りの人が過ごしやすい学校となるように、気持ちをこめて頑張っています。その気持ちがとても嬉しいです。学校教育目標の行動目標「わたしのふるさとを大切に」「精一杯自分の力で頑張る」「感謝の気持ちと人を大事にする」にもつながってきています。



郷土を知る

～水俣に学ぶ肥後っ子教室～

9月22日(金)、5年生が「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を行いました。苓北町の4つの小学校で行く連合での学習です。行き先は水俣市にある水俣病資料館と熊本県環境センターです。熊本県在住の5年生はみんなが学習します。「水俣に学ぶ肥後っ子教室」には次の目的があります。1つは、「水俣病に関する正しい知識や認識をもち、人権を大切にしようとする意識を育てること」、もう1つは、「地球規模の環境問題について学び、環境保全への意識を高めること」(今回は水資源の学習)です。水俣病資料館の語り部さんの話を聞きました。とても胸を打つお話でした。事前学習をしっかりと行って学習に参加しますが、現地に行って、五感を働かせて学習することは5年生にとって有意義な学習となります。おかげさまで、子供たちは熱心に学習に参加していました。この学習を通して、「環境保全への意識を高め、自分の実践できる力を高めること」「水俣病への正しい理解や認識をもち、人の痛みがわかり、人権を守ろうとする意識を高めること」について、校内で5年生発信の啓発そして継続して指導していきたいと思えます。



めること」について、校内で5年生発信の啓発そして継続して指導していきたいと思えます。



地域の方々に感謝

《地域学校協働活動の取組から》

- 9月20日(水)、2年生が「ミナクルファーム」を見学しました。2年生では、生活科で町探検を行い、町の良さや町の人への親しみをもち、自分たちの生活との関わりについて学習します。自分の住む地区にある様々な場所等を知り、興味や関心をもって探究する力を養っていきます。初めて分かったことや知ったことが、子供たちの感想の随所に表れ、充実した見学となりました。(写真中央)
- 9月21日(木)、3年生が「アタックス」を見学しました。3年生から始まる社会科の学習、自分の住む地域のことについて学習をします。今回は「店ではたらく人と仕事」です。普段買い物に行く場所ですが、そこで働く人の工夫や苦勞など、人々の生活との関わりから調査活動を行います。調べてきたことを学校でまとめ、さらに学習を深めていきます。(写真右下)
- ◎今回ご多用な中にもかかわらず、子供たちのために、依頼にご理解・ご協力くださった地域の皆様に感謝申し上げます。



<今後の主な予定>

※変更の可能性もあります。

- 10/4(水)陸上記録会5・6年
- 10/13(金)「くまもとの心」授業参観・学校保健委員会
- 10/17(火)就学時健診
- 10/20(金)地域交流活動
- 10/24(火)夢の教室5・6年
- 11/1(水)都呂々小研究発表会のため4時間授業
- 11/9・10 修学旅行6年
- 11/17(金)都市音楽会3・4年



全国学力・学習状況調査

4月に6年生対象で行われた全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。この調査は、国語・算数の教科の習熟調査と、子供たちの学習環境や生活環境、意識が調査されます。

今年度は国語・算数の各教科は、ともに全国平均・県平均両方を上回る結果となりました。昨年度から校内研究で行っている「読む力」の向上を中心に取り組んだ成果が表れています。今回の6年生の結果から、他学年における取組を構想し、学校全体の学力向上に取り組んでいきたいと思ひます。

《国語調査》

○調査項目の「話すこと・聞くこと」「読むこと」の問題は、全国平均・県平均を大きく超えていました。しかし、「書くこと」では、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題で、条件にあわせて書く力や、図表やグラフから分かったことを読み取り、問題点や解決策を構成して書く力の向上が必要です。

《算数調査》

○調査項目の「数と計算」「測定」「データの活用」の問題は、全国平均・県平均を大きく超えていました。「図形」の問題は、全国平均・県平均を超えていましたが、他領域よりは伸びが少なかったです。図形を構成する要素に着目して、図形の性質や図形の計量について考察できる力の向上が必要です。

《質問紙調査》

- 全国・県平均を上回った項目：「朝食を食べていますか」「人が困っているときは、進んで助けますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」
 - 全国・県平均を下回った項目：「将来の夢や目標を持っていますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ひますか」「あなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思ひますか」
- ※一部の質問項目は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が影響していると思ひられます。学校として、地域人材の活用やキャリア教育に関する取組の充実を図っていく必要があります。

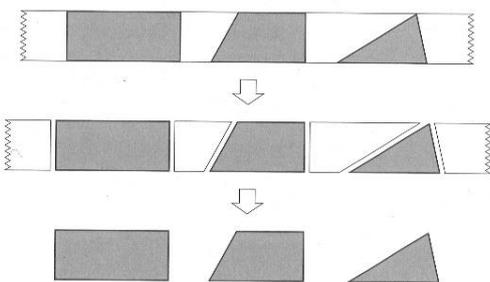
今回の学力調査だけで子供たちのもつ力を判断することはありません。このような調査を通して子供たちが強みや弱みを自覚することで、強みはもっと伸ばし、弱みは少しずつ強くしていくことができます。12月には、熊本県学力・学習状況調査(3~6年)と標準学力検査(1~2年)があります。毎日の学習の積み重ねができますよう、ご家庭でも励ましをお願いします。個人票は後日配付します。下に子供たちが解いた問題を1問掲載しますので、チャレンジしてみられませんか。

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線は平行で、テープのはばはどこも等しくなっています。

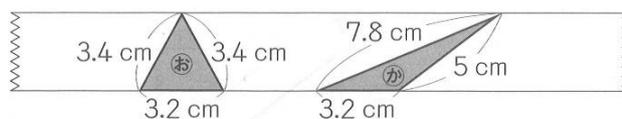


えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形をつくりました。



切り方によって、いろいろな図形ができますね。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくりました。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

<坂瀬川小学校ホームページ QR コード>

学校からのお知らせや子供たちの様子などをホームページ上でもお知らせしています。

